



”豊かな感性と深い洞察力で自らの
ピアノズムを見つめる。
将来を渴望されるピアニスト”
-What's on Magazine-

シリアの平和のために弾く
孤高のシリア人ピアニスト

W A S E E M K O T O U B

ワシーム・コトブ ピアノリサイタル

F・ショパン ▶ マズルカ 第1番 / 第4番
W・コトブ ▶ 「シリアの物語」～伝統音楽から～ <自作曲>
A・ピアソラ ▶ ～アルゼンチン・タンゴの名曲達～
"Ausencias" "Milonga for Three" "Libertango" 他

多古町コミュニティプラザ文化ホール

2013年10月17日(木)

18:00 開場 / 18:30 開演

大学生以下 1,000円 / 一般 1,500円 [全席自由]

チケット
お取り扱い

[多古町] 多古町コミュニティプラザ / 平山書舗 [香取市] 仁木書店駅前店 [成田市] 成田国際文化会館
木内書店 / JA 直売所「四季の里」 行木堂

主催：多古インターナショナル・ミュージックプロモーション 後援：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 / 多古町教育委員会

Photo by AHMAD WAHBE PHOTOGRAPHY Designed by Kei Sato Design Studio

Kei Sato
Architectural & Product
Design Studio

多古ミュージックサロン

多古町コミュニティプラザ文化ホール コンサートシリーズ 第一回

シリア人ピアニスト ワシーム・コトブ氏

シリアの伝統音楽をテーマに、自ら作曲した楽曲を弾く

～ヨーロッパ、中東ほか世界各国で活躍するピアニスト～



ワシーム・コトブ氏はイギリス・バーミンガム生まれのシリア系イギリス人。

ウラジーミル・ザレツキーより音楽の手ほどきを受け、確固たるピアニストとしての経験を積む。KRSF からのスカラシップを得て、英国王立音楽院にてダイアナ・ケトラーのもとで学び、ピアノ演奏およびピアノ教育資格の修士を取得。ダニエル・バレンボイム、イムレ・ローマン、クリストファー・エルトン、ヴィクター・ブーニン、ゾルタン・コティック、パスカル・ネミロフスキ、ペトラス・ゲニューシャス等のマスタークラスを受講。

IBLA ピアノコンクール（イタリア）で特別賞、KRSF コンクールで1位を受賞。ソルヒ・

アルワディ、アーマッド・アル・サイーディー、セバスティアン・ヴァイグレ等の指揮のもと、シリア国立交響楽団やブランデンブルグ国立管弦楽団などのオーケストラと協演。

またバルトクフェスティバルのファイナル・リサイタルや、シリアオペラハウスのオープニングナイトの演奏者に選ばれる。その他、ハンガリーのバルトクフェスティバル、ドイツのバビロンフェスティバル、ウェスト＝イースタン・ディヴァンワークショップ、イギリスのダリッジ・カレッジ・リサイタルホール、デヴィッド・ジョセフォヴィッツリサイタルホール、デュークスホールでコンサートを行う。ヨーロッパ以外でもレバノンやオマーン、ヨルダンなどの著名なフェスティバルやコンサートホールにてソリスト、室内楽の一員として演奏する。

～ピアニスト、作曲家、医学療養士の顔を持つ多彩な才能～

自ら作曲家としても活躍する傍ら、シリア人作曲家ワリード・ハヤールのピアノ作品のレコーディングを行い、シリアの伝統音楽を取り入れた楽曲などを広く世界に紹介。DW チャンネルや国営ラジオチャンネル3など、シリアやドイツにてテレビ、ラジオに多数出演している。

またリバプール熱帯医学学校にて、医療制度および病院経営の修士課程で学び、医学の学位も持つ。こうした経験を活かし、医学と音楽を融合させ、特別支援を必要とする人たちとの対話や発達の視点を踏まえた音楽療法を実践している。また自閉症児には、音楽をコミュニケーションと能力開発の手段として用いた音楽療法も積極的に行っている。

現在、ソルヒ・アル・ワディ国際ピアノコンクール芸術監督および審査委員長。High Institute of Music in Damascus 鍵盤学科主任。ブリティッシュ・カウンシルにて、アートプロジェクトマネージャーを務める。

< 演目 >

F・ショパン ▶ マズルカ 第1番 / 第4番

W・コトブ ▶ 「シリアの物語」～伝統音楽から～ <自作曲>

A・ピアソラ ▶ ～アルゼンチン・タンゴの名曲達～ "Ausencias" "Milonga for Three" "Libertango" 他

主催：多古インターナショナル・ミュージックプロモーション 通称<多古ミュージックサロン>

後援：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 / 多古町教育委員会